

八戸

八戸市は4日、市の助成金制度を活用して八戸圏域内での地域貢献に取り組んだ生徒や学生の事業を表彰する「学生&高校生まちづくりコンペティション」を八戸ポータルミュージアムはっちで開いた。最高賞の市長賞には、障害者との共生社会に向けたプロジェクトを提案した八戸学院大学大木ゼミを選んだ。

同日の活動成果発表では高校生の部5団体、大学や高専などが対象の学

学生まちづくりコンペへ

大木ゼミ(八学大)最高賞

障害者との共生提案



市長賞に輝き熊谷市長(左)から表彰される大木ゼミの学生

生の部4団体が参加。各メンバーが映像や実演も交えながら事業内容を紹介した。

大木ゼミは八戸市や三

戸町の障害者施設と協力し、障害者が制作したり、シニアや烏帽子のオブジェを同市中心街の公共施設に展示。「障害者の持ち

味や個性を発見し、それらを発揮できる創作活動ができた。街の活性化や障害への理解を深める機会にもなった」と成果を説明した。

講評で熊谷雄一市長は「どの取り組みも協働のまちづくりにつながる素晴らしいものばかり。これからのまちづくりには、若い人たちの力や発想が必要になる。行政と一緒にやっていきたい」と期待した。(三好陽介)

特別賞を受賞した団体は次の通り。

- ▽八戸工業大学第二高校
- ▽八戸商業高校
- ▽千葉学園高校